

介護あんしん 相談員だより

第48号 令和5年11月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見つけた点を施設側に伝えて問題の解決をはかります。現在18名の相談員が活動しています。

※現在は、新型コロナウイルス感染症予防のため、受入可能な一部施設のみの訪問をさせていただいております。

利用者さまや介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和5年8月・9月)



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：「娘が面会に来ていたが、いなくなった。」と探している方がいました。
施設：親子関係がうまくいっておらず、入所時には一切面会に来ないということでした。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



本当に胸の痛いお話しです。
利用者さまは、ずっと娘さんに会いたいと心の底から願われているのでしょうか。

もしも認知症の症状によって親子関係が悪化したのであれば、施設スタッフさんから娘さんに働きかけて認知症の症状について理解をしてもらい、歩み寄りのお手伝いが出来るといいですね。

利用者さまだけではなく、娘さんのこれからの人生にも関係してくる問題ではないでしょうか。娘さんが、今後後悔しないで人生を生きていくためにも、何とか早い段階で、お互いに関係になって欲しいと願わずにはられません。



～利用者さまの声より～

利用者：話し相手がいない。
相談員：「公民館での体操教室に行かれるのはどうでしょうか。」と施設へ提案をさせていただきました。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



※住宅型有料老人ホームにて

前回訪問した時に、「話し相手がいない。」と相談された利用者さまのことを、「市町で実施している体操教室等に行かれてはどうか。」と施設に伝えていたところ、施設では公民館での体操等いろいろ調べていただいたようでした。

そこで今回訪問した時に利用者さまから「9月から〇〇〇教室へ行くようになりました。」と嬉しい報告を受けたそうです。

しかし、まだ少し迷われている様子がみられたので、「一度行かれてみてはどうですか。」とお勧めしてきましたということでした。

施設によっては、出来ることと出来ないことがあると思いますが、相談員に話したことで施設に対応していただき、外に出かけるきっかけが出来たようで嬉しく思いました。また、地域の方との交流もできるようになれば良いと思います。

利用者さまと施設との橋渡しがしっかり出来たのではないのでしょうか。

利用者：健康診断に引っかかったことがない。昔はよく芋ご飯を食べていた。
施設：皆さん元気で、普段から健康面の話をよくされています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



こちらの方は以前農家をされていて、「健康の秘訣は早く寝て早く起きること。機械もなかったため鍬と鎌で作業をして、牛も使っていた。畦には大豆を蒔いて、収穫後には石臼で挽いてきな粉作った。芋ご飯ばかり食べていた。」と懐かしい話を教えていただいたそうです。

施設の利用者さまおひとりおひとり、これまで生きてきた環境も違い、考え方も違って当然ですね。介護あんしん相談員には、多くの利用者さまが今までの困りごとや、いろいろなお話をされたそうです。

利用者さまは、相談員より20年以上も歳を重ねている方が殆どですが、元気一杯の方が多く、相談員がパワーをもらって帰って来たということでした。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。